

平成8年12月3日  
編集発行 女性委員会

〒060 中央区北4条西5丁目 三井生命共同ビル (社)北海道建築士会 ☎ 011-251-6076



## 第8回 女性建築士の集い

第22回全道大会(空知大会)

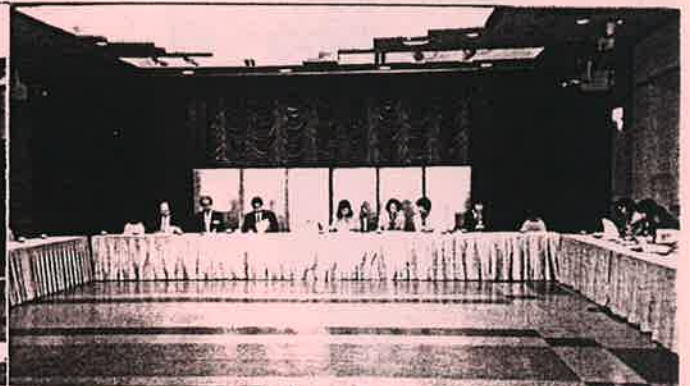
Report  
1

### ■PART I 見学会



道立福祉村・栗沢町のまちづくり

### ■PART II 全道女性建築士会議



平安閣

9月5日(木) 岩見沢市にて、「女性建築士の集い」が64名参加のもと開催されました。今年度は、見学会に重点を置き、重度身障者居住及授産施設を、居住者の日常生活のレベルで見学することが出来て、貴重な体験でした。



Report

2

## 平成8年 第2回女性建築士フォーラム テーマ 景観から見たゴミステーション

10月17日、全国大会(福井県)と共に、女性建築士フォーラムが開催され、北海道からは、道東Aブロック白澤さん 道東Bブロック丹代さんが出席しました。

福井女性委員会では5年前から取り組む、ゴミ問題を更に発展させて「景観から見たゴミステーション」と決定し、ワークショップを行いました。

- 開会式の後 **地区** **集合住宅** **公園** のグループに分かれて意見交換をしました
- 全国の事例をスライドで紹介した後、各リーダーが意見のまとめをし
- コメンテーターのコメントをいただき
- 新鍵野委員長の全体総評で締めくくりました。

感想 ~ 目新しい内容は少なかつたように思いますが、少数組ですが「ゴミステーションはいい」という意見が出て、又すでに設置されている新システムのゴミ処理法を知り、認識を新たにしました。

十勝支部 丹代真理子



フォーラム会場にて 丹代さん、白澤さん。



サケのふるさと館  
にて

千歳 1996.11.4 (MUN)

石狩支部の皆さんと久ぶりの顔合せで  
入館前に記念撮影

千歳 サケのふるさと館  
CHITOSE SALMON AQUARIUM



石狩支部の行事とし今回 "千歳のサケのふるさと館"を見学  
と言う事で、地元に住んで居ながら初めてしたので、良い機会でした。  
普通の水族館での、カラフルな色彩をもつ魚達のイメージとは  
異なり、ここは、このおまか "活魚亭"の大きな水槽になる?!  
と言うのも、口に出る言葉が "この魚、おいしいよねえ、"などで  
あるからだ。なかなか女性らしい会話になってしまいます。  
資料等の観覧スペースもあり、地下へ下ると、冷めたい空気に  
包まれて来るとそこは川の中です。  
川を側面から見ると、言った具合で、ガラス越しに季節ごとに  
違う魚が見れるそうです。私達があとずれた時はイワナの群  
で一杯でしたが、数日前にはサケの群で一杯だったそうです。  
その後、皆さんと昼食を取りながら、先立行なわれた高層化  
社会について講習会に参加された、後藤田淳子さんが  
吉田あこ氏のお話しか、大変良かったので、私達にお話  
して下さいました。  
お年寄りとの日常生活における感覚の違いが、大きいと言うこと  
おどろきを感しました。  
私達作る側として合理的、便利止で事を進めてしまいがち  
ですが、初めて、使う側からの視点を学ぶ、必要性を、高めて  
いきたいと思えます。

石狩支部 汲田由香里



本場 中国の味

—水ぎょうざ—

10月27日(日) 海外視察報告会と料理  
講習会を行いました。道教委が北海道と  
友好関係にある中国黒竜江省のハルビン市  
から招いた中国語指導助手の佐藤さんの  
講師に中国料理の講習会です。

先生は札幌、旭川の高校で中国語の  
授業を手伝っています。中国料理も、頼りにして講師を頼っています。

手は、ぎょうざの皮づくりから、粉をこね、丸めた生地を擀くのは、可のかわ、先生の手づきの皮が、ゆがいて  
皆、ツクリ。具は、ねぎとピー、白菜とニラの二種類。形は、丸いけど、沸騰した湯で、ゆでて、出来たて  
ぎょうざを酢しょうゆで、いただく。中国では、ぎょうざを、水ぎょうざ、と  
先生を囲み、ぎょうざを、食べるから、中国のお話し、なども、うかがいました。

照井部長の中国視察報告会も予定して、いよいよ料理講習会のほうも、長くなってしま。次回と  
いうことになりました。佐藤先生は、来年7月、札幌に滞在するので、期合が、あつたら、ぎょうざ作り  
に、参加して、みては、いかかですか。お料理の方は、中国水ぎょうざ、のレシピ、あります。

旭川支部 米本一穂



## PLEA 1997 KUSHIRO

The 10th International Conference on Passive and Low Energy Architecture



### PLEA '97 釧路国際会議

1997.1/8(水) → 10(金)

問い合わせ先  
0154-23-5547

- PLEAとは...  
Passive and Low Energy  
Architecture  
自然の恵みと建物に活用し  
エネルギー消費をおさめた建築。

平成9年1月に釧路で「PLEA'97 国際会議」が開催されます。市民参加のワークショップに地元委員として釧路会より事務局として参加しています。この会議に先立ち、今年の8月に市民アイデアコンクール・テーマ「ととにくらす」があり、多くの人達から応募を頂き6名が入賞。入賞者は賞として、12/25～1/3 北欧デンマークの町ホーセンスにホームステイします。そこでの体験談をPLEA'97の会議で発表し表彰されます。その北欧施行の「付き人」として士会代表2名が同行することとなり、お正月は「デンマークの人」です。

又、リフォームペルソナ制度へ向けて、リフォーム・デザインコンクールが出来て、色々なセクションの人達が集まり、勉強会を開いています。知見と職能が必要とされている事を感じています。

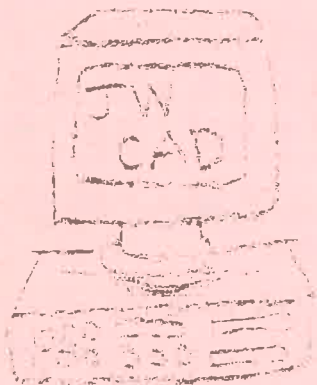
釧路支部 浅野久子

H8.8 アイデアコンクール



## ☆ CAD講習会 ☆

青年部の技術委員会主催のJW-CAD講習会に参加しています。ドラフターに替って急速に普及してきたCADに遅ればせながら“使ってみようかなあ～”と思いやってはみたものの、これがなかなか手強い代物で……。



毎日、仕事で使っている人からみれば、“こんな簡単なこともわからないの？”って言われそうですが、思ったように動いてくなくて、毎回、悪戦苦闘の連続です。(これも年のせいでしょうか?!!!) コンピューターに触ることに抵抗はないのですが、こんな調子では先が思いやられます。また、アナログの時代がこないかなあ～なんて事を考えながら今日もドラフターに向かって仕事をしています。

函館支部 吉田 順子





筑波技術短期大学教授  
工学博士・一級建築士 吉田 あこ 先生

高齢者の身体的機能低下

1, 眼 —— 老人性白内障 —— 永年の紫外線透過により水晶体が黄変する老化現象

極端に色味が変化し  
見えにくくなる色がある

全体に黄色のフィルターをかけたように見える

- 白と黄は同色化する —— 白ベースに黄色文字は判別できない
- 青は無彩色化する —— 黒ベースに青色文字は判別できない
- 無彩色（白、グレー）には黄色っぽい色味がついてみえる

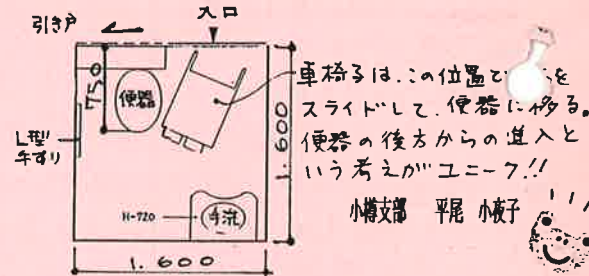
2, 耳 —— 音が聞こえにくくなる —— 特に高音部の音が聞こえにくい

現在、ほとんどの警告音が高音になっているので、お年寄りには認識されにくい

◆ポットやヤカンのお湯の沸いた音……ピッピッ ◆インターホン ◆めざまし音 etc.

3, その他、老人ホームの個室に最小スペースで、使い易い車イス用トイレをつけるためのデータ等、実践的な数字をあげて講演して下さいました。

◆1600X1600で、便器の横、後方から進入するのがベスト。  
壁から便器先端まで750が重要な数字



小樽支部では、数年前から古建築調査委員会のメンバーが市内に残る古建築の調査を続けており、昨年からは『和光荘』（旧野口喜一郎宅）の調査は、私達女性部会が担当しています。

『和光荘』は、大正11年に建てられた4層からなる洋館で、その背面には昭和初期に増築された別館と仏間棟があり、かつての小樽の繁栄を知ることができる豪邸のひとつです。

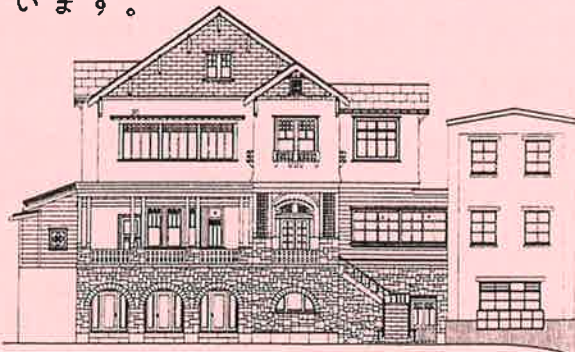
古建築の調査など初めてだった私達は、何をどうすればいいのかわかりませんでしたが、前回の調査に参加している男性会員の協力を得ながら、なんとかこの2年間で、中央に噴水のある半円形のサンルーム・玄関横の重厚な応接室・ステンドグラスが美しい浴室・大正天皇が御宿泊されたという和室・仏間棟へ通じる斜めに取付いている階段などの実測を終えました。

今後は、実測寸法を基に作成した図面や写真の整理・資料収集を経て、編集作業に入ることになりますが、当初2～3年で終える予定が、あっという間に2年も経ってしまいました。

このペースで行くと、来年中に完成というのは多少無理があるように思いますが、出来るだけ早い時期に私達の目から見た『和光荘』をお伝えしたいと思っています。

小樽支部 沼田 暢子

和光荘



正面図

<編集後記>

根雪になりそうなお雪の夜、コーヒーの香りが漂う暖かい部屋で、静かに編集作業は、流れて行きました。

今野・田村・早川・平尾・本間・沼田

